

## 経口腸管洗浄剤使用が周術期ナトリウム値および酸塩基平衡に与える影響： 後方視的観察研究

### 1. 研究の実施について

当院では、以下の研究を実施します。この研究は、通常の診療で得られた情報を用いる 後方視的研究 であり、患者さんに新たな負担や危険は一切ありません。

本研究は、厚生労働省「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に基づき、オプトアウト方式（研究内容を公開し、拒否の機会を保障する方式）により実施します。

### 2. 研究名

経口腸管洗浄剤使用が周術期ナトリウム値および酸塩基平衡に与える影響：後方視的観察研究

### 3. 研究の目的

消化器手術、婦人科手術、あるいは泌尿器科手術の前処置として、便を促すために飲まれた経口腸管洗浄剤が、術前・術後の血液中のナトリウム値や血液の酸性の程度（酸塩基平衡といいます）にどのような影響を与えるかを明らかにし、周術期（手術前から手術後の時期）の安全性向上に役立てることを目的としています。

国内では、稀ではありますが、仙台医療センター医学雑誌（SMCJ 2023;13(2)）において、腸管洗浄剤内服後に急性の血液中のナトリウム低下を来した症例が報告されています。海外でも、Windpessl ら（BMC Nephrology 2017）、Reumkens ら（Dig Endosc 2022）などが腸管洗浄剤とナトリウムなどの異常の関連を報告しています。

### 4. 研究の方法

2020年4月1日～2026年3月31日の期間に、当院で腸管洗浄剤を使用し、消化器手術、婦人科手術、あるいは泌尿器科手術を受けた患者さんの電子カルテ・麻酔記録・検査データを匿名化して解析します。

研究期間：2020年4月～2026年11月

研究方法：後方視的観察研究（診療情報のみを使用）

### 5. 研究に利用する情報

血液検査

腸管洗浄剤の種類・量・飲水量

術式・麻酔法、麻酔中の血圧や脈拍の変化

手術中の輸液量・尿量

術後経過（尿量、在院日数など）

※診療録の内容のみを使用し、新たな検査や負担はありません。

#### 6. 個人情報の保護

収集した情報は、研究用に 匿名化（氏名・住所・患者 ID などを削除）したうえで解析します。

匿名化後のデータは研究者以外が閲覧できないよう厳重に管理します。

研究成果は学会や論文で公表される可能性があります、  
個人が特定されることはありません。

#### 7. 研究への利用を希望されない場合

本研究への情報利用を希望されない場合は、  
下記の研究責任者までお申し出ください。  
その場合、患者さんの情報は研究に使用しません。

#### 8. 問い合わせ先

長野市民病院 麻酔科

主任研究者 川上勝弘

電話：026-295-1199（代表）